2022.01
Vol.037

きずな

公益社団法人　つくば市シルバー人材センター

健康で　楽しく　幸せに

賀春

五十嵐つくば市長の新年のご挨拶
五十嵐市長と尾台理事長の新春対談
年頭のご挨拶
30周年記念事業の進捗状況
新入会員セミナー
令和3年度会員の意識アンケート調査
女性会員たちの活躍
地区活動レポート
独自事業の活動
わたしの職場

〈五十嵐つくば市長の新年のご挨拶〉

新年あけましておめでとうございます。日頃から、シルバー人材センターの会員の皆様には、つくば市政に多大なるご協力と深いご理解をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市は、高齢者と介護者が住み慣れた地域で安心して、自分らしく生き生きと暮らせるまちを目指しています。今日において、会員の皆様が多岐にわたる活動をされている姿は、つくば市にとって大きな力となっています。シルバー人材センターにおかれましては、地域を支える一員として今後もさらに多くの方々に会員となっていただき、生き生きと暮らせるまちの実現に向けて、共に取り組んでいきましょう。ご活躍に期待しています。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うとともに、つくば市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

〈五十嵐市長と尾台理事長の新春対談〉

（理事長質問） 高齢者の就業問題には、経済的側面と社会的側面があると考えますが、つくば市はシルバー人材センターの役割をどのようにとらえているのでしょうか。

（市長回答） 今後、つくば市においても高齢者人口のさらなる増加が見込まれます。シルバー人材センターが、社会的なつながりを創出する場となり、就業を通じて健康維持や生きがいづくりに結びついていくことが重要だと考えます。つくば市では引き続き、活動に対する支援をしてまいります。

（理事長質問） 女性会員の活動が広がっていますが、就業機会の拡大がセンターの命題となっています。就業拡大に向けた話し合いの場を設けていただきたい。

（市長回答） 現在、女性会員の方に活躍していただいている事業としては子育て支援ルーム「きずな」が例に挙げられます。性別に関わらず個人個人の経験を生かし活躍していただくことは今後、ますます地域に求められていくものと思われます。市としても就業機会の拡大に向けて話し合いの場を設けることは必要なことと考えています。

（理事長質問） 市から発注される事業が減少しています。受注増加に向け検討の場を設けていただきたい。

（市長回答） 会員の皆様には、施設の管理業務や清掃業務等、様々な面で市に貢献していただいております。就業機会の増加につながるよう、シルバー人材センター事務局と連絡調整を行い、関係部署との検討の場を設けたいと考えています。

（理事長質問） 設立30周年記念事業を令和4年5月14日に開催を予定しております。つくば市の支援をお願いいたします。

（市長回答） つくば市シルバー人材センター設立30周年おめでとうございます。

設立30周年記念事業の開催にあたって、広報つくばや市のホームページ、区会回覧をとおして、広く一般市民の皆様に対して活動内容等の紹介を行っていきたいと考えております。

また、シルバー人材センターの広報誌「きずな」を、交流センターや老人福祉センター等の市有施設に設置する等の情報提供を行い、引き続き協力していきます。

〈年頭のご挨拶〉

【尾台理事長のご挨拶】

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍に翻弄される中で、シルバーの活動に日頃からご協力いただき厚くお礼申し上げます。幸い、シルバーの会員、関係者にコロナ感染者がなく、新らしい年を迎えることができました。しかし、コロナ禍によって書面による総会、部会、委員会、各種の研修会・講習会の中止や延期を余儀なくされ、同時に事業収益の低下といったセンターの運営にとって大きな影響が生じました。また、7月には会員が業務中に熱中症を発症し、亡くなるというあってはならない事故が発生し、安全最優先のシルバーにとって大いに反省すべき1年となりました。

（注）きずなの中では「つくば市シルバー人材センター」を「センター」と称する場合があります。

さらに、65歳定年、企業に対し就業希望者の70歳まで雇用義務の努力化、「同一労働・同一賃金制」などが制度化され、シルバーを取り巻く労働環境が大きく変化しようとしております。こうした厳しい中で、今年も事業の拡大・拡充を目指して「会員の拡大」、「安全適正就業の推進」、「事業収益の増加」を中心に進めてまいります。

センターは、設立30年を迎え、5月14日に30周年記念事業の開催を予定しております。事業の開催に向け、皆様のご支援とご協力をお願いするとともに、この1年が穏やかで希望に満ちた明るい年になりますようお祈り申し上げます。

【成島副理事長のご挨拶】

新春を迎え今年こそコロナ終息の1年であってほしいと思います。

昨年は非常事態宣言の中、行動の制限等余儀なくされ、今まで味わったことのない日々が続きました。その中で、〝女性会員を増やそう〟というスローガンを掲げ、当センターは女性活躍委員会が中心となり、10月女性限定入会説明会、11月県シ連主催つくばセンター共催の新会員セミナー、12月スマホ教室等、会員拡大の活動を進めてきました。今年は一転、会員向けの多彩な行事を考えたいと思います。小物づくり実施継続のほか、グランドゴルフ、体操教室、ハイキング、料理教室、ヨガ等のサークルを立ち上げて、仕事だけでなく楽しい時間と仲間づくりを進めていきたいと思っています。

本年は、会員の皆様がご健康で明るい1年でありますよう、頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

【松浦事務局長のご挨拶】

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナ感染拡大の影響でセンターの運営も厳しい状況ですが、会員拡大、就業先の確保及び就業率向上を重点目標として収益の向上に向けて、令和4年度も引き続き取り組んでまいります。そのためには部会委員会で検討した中期事業計画を具現化し、着実に実行していくことが肝要と考えています。会員の皆様の安全就業と適正就業の確保に取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

◆やまびこ◆

昨年ひとり親家庭の支援団体がアンケート調査を行った。60％が収入減、47％が食料のヘルプなどを訴えていて、満足に食べるものがない、子どもの学用品にも援助してほしいと切実な答えもあったそうだ。行政の支援制度が十分に生かされてないと、この団体は訴えている。コロナ禍により、非正規労働者がますます不利な立場に追い込まれている。強力な国の政策が望まれる。

【理事・監事の一言抱負】

正副理事長を除く11名の理事・監事の皆さんから、新年に向けての一言抱負を寄せていただきました。

・新春を迎え総務部会は会員の皆様が親しみ易い、明るく、楽しいセンターを目指して活動していきたいと思います。　**深谷淳一理事**

・健康で意欲と能力がある高齢者が働き続けられる【生涯現役社会】の実現に向け仲間を増やす体制作りに取組みます。**藥師寺晴美理事**

・会員あってのシルバー人材であるから、理事として就業開拓に専念し、未就業者ゼロを目指していく所存です。　**小杉晴彦理事**

・昨年下期より衛生管理部署を担当しています。会員及び職員の疾病予防等健康管理の仕組み作りに力を注ぎます。　**武井　義理事**

・会員とお客様そしてセンター事務局をしっかりと結びつける情報を発信して相互の役に立つように尽力します。　**大塚　誠理事**

・ランク審査委員会委員長として、安全第一に技能向上と公平な審査を目指し、力を尽くす所存でございます。　**里信隆義理事**

・シルバー人材センター会員の一助に成るようセンター運営において切磋琢磨努力怠らず邁進する所存です。　**土田禎太郎理事**

・シルバー人材センターの抱えている問題点にしっかり向き合い、努力を惜しまず進みたいと思います。　**真尾絹子理事**

・顧客要望にスピード感を持って対応できる組織作りをする。新会員の確保を図るため課題解決に取り組む。　**酒井清貴理事**

・高齢化社会を先取りしシルバー人材センターではこれまでの人生経験を生かした取り組みで貴方を待っています。　**金子和雄監事**

・フランスパンカンパーニュをサブスク方式のSC独自事業にすべく開発中です。試食会歓迎、ご意見募集中です。　**山峰國彦監事**

〈30周年記念事業の進捗状況〉

コロナ禍が11月に入り落ち着きましたが、クリスマス、年の瀬、お正月、人の動きが多い季節の到来、第6波の感染拡大も懸念されています。

さて、30周年記念事業、これまでコロナ禍で記念式典と記念誌発行だけと考えてきました。今後、コロナ禍の様子を見ながら、会員の絵画、ステンドグラス作品、女性会員製作の小間物の展示、野菜販売、子供向けの出店、あるいは記念式典の前に「音楽会」、「ガマ油売りの口上」といった会員や市民の皆様に楽しんでいただける催事を計画していきます。

記念誌の編集については、既に記念誌の名称を決め、原稿の依頼、写真の収集を行って令和4年2月に大枠を作成、提示する予定です。

これからも、会員、市民の皆様には「事務局だより」、あるいは市の広報誌を通じ、記念事業の進捗状況や開催を逐次お知らせ致します。

（理事長　尾台昌治）

〈新入会員セミナー〉

「接遇力向上研修」

11月5日大穂交流センターにおいて、新入会員27名の参加を得てリフレッシュ講習会を開催しました。深谷総務部会長から、センター入会後の注意事項・安全第一の話があり、尾台理事長からは、センターの歴史、理念、就労後の心構えなどそして何より、仕事を通して仲間との交流を深め健康と生きがいを求めて有意義な人生を、との訴えがありました。続いて講師の宝田佳永子様のメインテーマ「接遇力向上」の講義です。

内容は、コミュニケーションの3要素／第一印象の影響力／好感の持てる笑顔／身だしなみの3要素／お辞儀の仕方／苦情対応の基本など、講師の体験も交えてユーモアに、和やかな雰囲気のもとに終わり、最後に身だしなみチェックシートを提出して閉会となりました。

（記：総務部会員根本洋一）

〈新規シルバー向けセミナー〉

これからの人生

このたび上記のセミナーが、令和3年11月17日、つくば市内のホテルグランド東雲で開かれました。主催は（公社）茨城県シルバー人材センター連合会、共催は（公社）つくば市シルバー人材センター。会場ではコロナ対策として各席の間隔を広く空けて、一般の応募客多数と、両センターの関係者も多く支援にきました。女性たちが友人とグループでの来場が多かったようです。今回のセミナーのテーマは『人生100年時代　これからの人生　あなたはどのような生き方をされますか？』

セミナーは二部に分かれ、第一部はつくば市シルバー人材センターの活動内容。第二部がお待ちかね、茨城県出身で女優として大活躍中の羽田美智子さんによる、楽しいトークです。特にコロナ禍での舞台、ドラマ出演ではたいへんな努力と気苦労のあったことがうかがわれました。また、代々続く屋号と良い物だけを売るというコンセプトのオンラインショップ「羽田甚商店」も、軌道に乗っているようです。女性客の皆さんが、楽しそうに帰っていく姿が印象的でした。

講師の羽田美智子さんと関係者一同

■令和3年度会員の意識アンケート調査■

当センターの地区統括部会（小杉晴彦地区統括部会長）により、全地区へのアンケート調査が令和3年後半に行われた。詳細は以下の通り。　　（注）紙数の都合で、若干字数を調整。なお仕事と同好会のデータに注目したい。（山内）

1. 目的：

令和3年度前半もコロナ禍による自粛で、地区活動が停滞を余儀なくされている状況下、前年度に続き、今年度も全会員に「アンケート調査」を実施した。

今年度の主旨（コンセプト）：

（1）前年10月から、約1年間で約150人の会員の入れ替わりがあり、新たな会員についての動向を把握したい
（2）ワクチン接種後のコロナ禍対応について、会員の要望
（3）事業として「あおぞら市場」を実施する際の作物提供者を知りたい
（4）同好会を活発化するため、各会員の趣味趣向を知りたい

2. 分析：

（1）「回答率」

今年度は、会員670名中432名の回答あり（64.5%、前年度比3.7%上昇）

（2）アンケート項目（10項目）

前年度の項目に加え、今年度はコロナ関連及び中期事業計画の「あおぞら市場」及び「趣味・同好会」を追加（質問6～10）

（アンケート）

①「入会の動機」：前年同様、就業の機会及び生きがい・健康維持が圧倒的に多く、84%も占める。コロナ禍でも、家庭に埋没しないとの思いの表れか

②「シルバーの仕事をしていない」：「自分に適した仕事がない」は、昨年度25%に対し今年度は36%と11%も上昇。また、「シルバー人材以外の仕事」は昨年度22%に対し今年度は25%と3%も上昇。これは、コロナ禍であっても仕事を求めている事、そしてセンターからの仕事情報と会員の希望する仕事のギャップが大と思われる

③「地区活動への参加」：「参加したことがない」は、昨年同様47%と約半数を占める。その中で、「忙しい・家事都合」45%に対し、参加を進める事はむずかしいが、「参加するのが面倒」15%、「周りに知人がいない」27%と併せて42%もいる。この人たちは、地区役員の永遠の課題か

④「コロナワクチン接種と懇親会」：「ワクチン接種」した会員は、410人（95%）と多いが、「ワクチン接種後」もコロナ禍が心配で参加したくない会員が270人（67%）と7割弱を占めている

⑤「あおぞら市場」：農作物を提供出来る会員が31名もおり、非常に心強い。来年度、市場開設に向けて「場所の選定」、「提供者との打合せ（提供できる作物・運搬・レジ・バーコード他）」等、充分な打合せが必要

⑥「趣味と同好会」では、75名の会員からいただいた趣味の種類は、50種類もある。時期をみて、「事務局だより」に趣味の一覧表を掲載したい。センターとしては、地域を超えて会員同士の自主的な趣味の同好会を奨励し、センター全体の活性化に結び付けていきたい

（内訳）ゴルフ（12名）　カラオケ（7名）　グランドゴルフ（5名）　登山（6名）　囲碁（6名）　将棋（4名）、釣り（5名）
以下3名（バトミントン・サイクリング・ハイキング・麻雀・読書・手芸・縫い物）、2名（12項目）、1名（24項目）

＊以下のデータの数字は人数）

Q1　入会動機

ア：仕事	204
イ：生きがい	153
ウ：社会との絆	44
エ：友人	9
オ：その他	14
合計	424

Q2　現在シルバーの仕事をしているか

ア：している	284
イ：していない	147
合計	431

Q3　シルバーの仕事をしていない理由

ア：適した仕事無い	52
イ：シルバー以外の仕事	37
ウ：体調悪い	26
エ：コロナリスク	16
オ：その他	15
合計	146

Q4　地区活動へ参加しているか

ア：積極的参加	77
イ：たまに参加	149
ウ：参加したことない	199
合計	425

Q5　地区活動へ参加していない理由

ア：面倒くさい	33
イ：忙しい	97
ウ：知人がいない	58
エ：その他	29
合計	217

Q6　コロナワクチンを接種したか

ア：した	410
イ：していない	20
合計	430

Q7　飲食を伴う懇親会に参加するか

ア：参加したい	54
イ：酒カラオケあると参加しない	49
ウ：コロナ心配で参加しない	270
エ：その他	33
合計	406

Q8　あおぞら市場に作物を提供できるか

ア：提供できる	31
イ：提供できない	372
合計	403

〈女性会員たちの活躍〉

【新年の抱負】

コロナウイルス感染拡大に翻弄されたこの2年あまりでしたが、会員の皆様、健やかに新年をお迎えいただけたこととお喜び申し上げます。　新しい年を迎え、今年こそはコロナ感染を終息し、多様な計画・活動を実施できる年としていきたいと強く念じております。

中長期実施計画はセンターの大きな目標の一つです。女性会員獲得拡大は、女性の時代が社会の趨勢となりつつある中で、強く求められているところです。その流れを確かなものにするためには、今ある女性会員の方々、新入会員の方々の特技、優れた能力を惜しみなく発揮いただきたいと思います。就業における活力ある取り組みを土台に、ボランティア活動・地域社会への積極的貢献、サークル活動等を推し進め、皆様の生きがい・喜びに繋げていただければと思います。そのためには、他部門との連携、率直な話し合いを丁寧にきめ細やかに進めることが重要かと思います。私は、事務局のサポート体制強化も含めて微力を尽くしていきたいと決意しております。皆様もまた、センターの在り方について率直にアイディアのご提供・お力添えをよろしくお願いいたします。（記：真尾絹子）

【女性限定入会】

日時：令和3年10月27日（水）
場所：茎崎保健センター2F会議室

コロナ感染小康状態の中、女性限定入会説明会を実施いたしました。通常の入会説明会とは異なり、ビデオ放映や幹部による壇上説明を一切行わず、女性委員2名と参加者1名を1ブースとする直接対話方式です。4ブースを設置し、シルバー人材とは？入会方法？就業までの仕組み？等の疑問、不明点をじっくりお聞きし、分かりやすく丁寧にお答えするように心がけました。個人の事情にも踏み込んでフリートーキングを行い、結果として信頼関係を作る場となったと思います。。

市広報誌、区会回覧、HP掲載等の効果もあり、14名の参加があり（後日8名が入会）、スタッフ一同大きな手ごたえを感じた次第です。ボランティア活動の小物作品展示ブースにも興味を持っていただき、また心ばかりのお土産も喜んでいただけたご様子に、うれしくホッと致しました。2月には谷田部地区での開催を予定しておりますが、今回の経験を生かしていきたいと思います。

（記：真尾絹子）

〈地区活動レポート〉

【アダプト・ア・パークで地域貢献】

大穂地区は、令和3年11月14日（日）、大久保公園でアダプト・ア・パークのゴミ拾い、終了後4組に分かれてグラウンドゴルフを行いました。ホールインワンもたくさん出て、和気あいあいの大騒ぎで、ノーサイド。

桜地区は11月7日反町の公園で、谷田部地区は11月26日高野台公園で社会貢献の実証を示されました。

桜地区の皆さん

谷田部地区の皆さん

大穂地区の皆さん

【筑波地区宝篋山トレッキング】

令和3年10月24日（日）、会員9名の参加を得て、宝篋山トレッキングを行いました。頂上では正面に筑波山、眼下に霞ケ浦、360度のパノラマ、壮大な気分を楽しむことができました。昼食

は、おにぎり、お新香、果物、茶菓子をおすそ分け、久しぶりの再会でおしゃべり満開です。全員けがなく無事に家路につくことができホッと致しました。（記：筑波地区長　染谷武彦）

【茎崎地区のリクリエーション】

茎崎地区は、令和3年11月27日紅葉やや過ぎた高崎自然の森公園で、密に煩わされることもなく、清涼の好天の中、23名の参加を得て英気を養いました。初めに輪投げ大会、むつかしいの声で大騒ぎ。そして、「筑波山ガマの油売り口上研究会」の皆さんによる「おかめひょっとこ踊り」、「ガマ口上」、「南京玉すだれ」を1時間余り、見事な芸に引き込まれ浸りきることができました。おいしい弁当がまた格別。

研究会の皆さんも、コロナ禍で芸披露は久方ぶりとか。お呼びしたい方のために連絡先を記しておきます。

（記：村野四郎）

・「筑波山ガマの油売り口上研究会」の連絡先
代表：市村文子：つくば市金田118
090－9332－3579

〈独自事業の活動〉

【子育て支援ルームきずな】

女性部会を中心に、子育て世代を支援する事業として平成26年12月谷田部老人福祉センターにオープンしました。当初、国と市の補助金をもとに運営を開始、現在は地域の子ども・子育て支援事業として、市から施設の無償貸与と財政的支援を受けて8年目を迎えました。子供の数も多く大変な時もありましたが、昨年からコロナ禍で状況が一変、8・9月は緊急事態で休業状態となり、宣言解除となった10月から仕事を再開しました。しかし、利用者が少なく、PRやチラシ配布をしながら子供たちの声が部屋いっぱいに響き渡る日が来ることを願う日の連続です。何としてもこの仕事を継続し市民の皆さんのお役に立ちたい、同時に会員の就業の場として頑張り抜きたいと思っています。

（記：小倉武子）

【自転車部】

リサイクル自転車はSDGs

センターの会員が主体的に働く独自事業の一つに、2013年創業の＜自転車部＞があります。令和3年度に新しく就任した同部の久保田代表（写真1）は元大手自転車メーカーに勤めていたという超職人技の持ち主でした。心強いことは**全部員が自転車大好き人間**たちの集まりであるということです。

同部では自転車の修理とリサイクル自転車の整備販売を行っています。自転車事業を扱うためには、①自転車安全整備士、②自転車技士の資格取得と関係団体への登録が必須です。なかなか難しい資格ですが、現在久保田氏も含めて2名の会員が取得してお

写真1　右が久保田代表、左が小野村会員

り、センターでは会員の資格取得を支援するために、令和3年から受験料等の補助を決定しています。

現在自転車部には二箇所の活動拠点があります。一つはつくば市消費生活センターの敷地内にある通称「Gチャリ君」（修理・リサイクル自転車の販売。写真2）。もう一つは学生たちによる放置自転車をなくしたいという大学の要望で、同大学内に設置させていただいた作業場（写真1）です。毎年卒業時に、学生たちが使用した不要な自転車が大量に発生するので、リサイクルにより資源の再利用に役立てようというわけです。これまではなくて不便な思いをしていた念願の休憩小屋が、令和3年センターの支援により建ちました。

なおリサイクル自転車の販売では、安心安全のために、防犯登録とTSマーク（損害保険）をほぼ100％つけているそうです。

（自転車部へのお問い合わせ：090-7801-1043）

写真2　Gちゃり君

〈わたしの職場―シルバーの汗〉

センターに所属していても、多くの仲間が何をしているかわからないのが実情です。どんなところで、どんな仕事を、どんな思いで……。知ることで、就業意欲も生きる喜びも再確認できるのでは。また未就業の方へのアピールにもなるのでは。多くの方にシルバー人生を楽しんでいただきたくて、このコーナーを起こしました。皆さんが、投稿しやすいようにポイントを箇条書きにしました。①氏名（入会年数）（年齢）②勤務先　③どんなお仕事　④どんな気持ちで仕事してますか？　⑤いいこと、失敗談・苦労したこと（あれば…）　⑥シルバー人生どう思ってますか？　今回は6名の方にご投稿いただきました。（文中敬称略）

①牛久沼聖地公苑　清掃作業

①武樋正孝（4年3か月）（79歳）②展望台から見える牛久沼、自然の中を散策できる遊歩道、快適に墓参りできる霊園です。③苑内清掃（落葉収集、休憩所内清掃、花・供え物下げなど。）④苑内を常にきれいに。墓参りの方に親切に対応するよう心掛けています。⑤休みたいときに、いつでも仲間5人が協力し支えてくれる、働きやすい職場、かけがえのない友達に出会えた。感謝です。⑥この歳まで働けるとは思っていなかった。いつまで働けるか、シルバーの仕事を通しながら人生最終章を全うしていきたいと願っています。

②つくば市の公園等　草刈り剪定作業

①岩田省吾（12年）（75歳）②市の公園・施設課との年間契約③つくば市公園、圏民・福祉・児童各センター等60か所を年3回、仲間6人で草苅剪定作業をしています。④健康維持とボランティア精神で。通院しながら普通（お酒も）の生活ができていることがありがたい。⑤後片付けで手にした鉄枠が突風で振られ、たまたま通りかかった車のボディを傷つけたことがあった。以来道路際のネット張りを徹底しています。⑥シルバーの仲間といつも力を合わせ補い合いながら汗を流し、健康を維持できることに感謝です。

③山新グランステージ　園芸部門

①大塚誠（4年）（72歳）②山新グランステージつくば。③園芸部門所属の私たちは、

売り場の掃除、草花・野菜・果樹への水やり、値付け、商品の出し入れなど作業は多岐にわたります。それに加えスタンドでの灯油販売、1月の厳冬期にはピークに達します。④多くの老壮青のお客さんと交わす挨拶一つひとつで元気な気持ちになれます。⑤花の名前、特に横文字・片仮名の名前を覚えられず苦労しています。⑥社会に参加できる喜び、健康で働ける喜びを感じながらメンバー一同〝今日もまた無事故〟の思いで働いています。

④つくば総合福祉センター　居室清掃作業

①和田美代子（2年）②つくば市総合福祉センター「いちはらメディカルグループ」内の障害者支援施設。障害のある方また病気などの理由により短期間入所した方に対して、入浴・排泄・食事等の支援を行う施設です。③ベッドメイキング、洗濯物回収・配布。入浴の衣服準備等　④利用者様が気持ちよく休まれ、楽しく生活できるように気配りします。⑤雑巾など小物を居室に忘れる時も。初め、顔と名前が覚えにくく苦労します。⑥新しい友達ができ生活にメリハリがついて、仕事を始めてから人生の幅が広がり、楽しくなりました。

⑤アフトンケミカル・ジャパンつくば研究所　清掃

①小倉輝子（6年）②アフトンケミカル社は、石油添加剤の開発と製造を行う世界的な米国企業。③社内エントランス、事務所・会議室・水回り・トイレを、クリーナー・消毒薬・雑巾を使って清掃します。④研究員の方々が気持ちよく使っていただけるよう気持ちを込めています。⑤いいこと：荷物搬入のクロネコさんが「いつもきれいですネ」と会社の方におっしゃったそうです。⑥ここに勤めて6年、年を経るにつれ、この仕事はリハビリだと強く思うようになり〝ほこり〟を感じます。また、シルバーの方と懇談・おしゃべりするのがとても楽しいです。

⑥筑波学園病院　メッセンジャー業務

①板橋範男（10年）（78歳）②表題に同じ③内線携帯と手提げかごを持ち、看護師さんや薬剤部などから電話を受けて患者さんの検体や薬剤、小型医療機器、書類などを指示された部署にお届けする業務です。　終日の業務ですが、シルバーは昼間のみ3名で交代勤務です。④平日は忙しいですが、効率よく早くお届け出来るよう気配りしています。⑤認知症予防策として「他人との交流」、「運動」、「達成感」が言われています。この仕事はそのすべてを満たします。また「ありがとう」の一言に励まされます。⑥社会のお役に立っている実感が持てますし生きがいにつながっています。仲間からも元気をもらっています。

〈歴史に学ぶ〉

アルメニア～大国間の狭間で苦悩

西アジアの北西にあり、小国ながらも存在感を示す国がアルメニア共和国です。一方では小国なるが故の苦難も味わってきました。東西を黒海とカスピ海に挟まれたカフカス（コーカサス）地域の南側にあり、北に大国ロシア、ジョージア、東にアゼルバイジャン、南には強国のトルコやイラン、周辺にはいくつかの自治共和国、自治州などが複雑に入り組んでいる高地です。カフカスは東西の交易、交通の要衝ゆえに、紀元前から多くの民族により争奪の地となりました。アルメニアは6世紀以降、周辺の強

国トルコ、イラン、ロシアに支配されましたが、1991年に独立を果たしています。アルメニア共和国は人口約300万、面積約3万㎢、紀元後301年世界で初めてキリスト教を国教に取り入れた国として有名です。

アルメニアは芸術、政治などで多くの人材を生んだ実にしぶ～い国なのです。『剣の舞』で有名な音楽家ハチャトリアン、歌手シャルル・アズナブール、ソ連時代に凄腕を発揮したミコヤン元副首相などアルメニア系が多士済々。世界のビジネス界では、アルメニア人が〝一目置かれる〟存在であることをご存知でしょうか。姓名にアン、ヤンがつく人にはアルメニア系が多いのです。

筆者が1978年5月、商用でアルメニア共和国エレバン市へ出張の折に、現地の人の勧めで見学した郊外のアルメニア正教会の総本山エチミアジン大聖堂（写真1）や遺跡群は、現在世界遺産になっています。その大聖堂内では海外観光客（米国系）のほかに、地元らしい多くの年配のアルメニア人たちが〝お祈り〟を捧げていました。

写真1

いまはトルコ領になっている大アララト山5137m（写真2）が市内のどこからも見えました。意外に近い。富士山に似ており、旧約聖書創世記にあるノアの方舟の漂着地ではないかとされます。案内のアルメニア人が悔しそうに「あの山は、昔はアルメニアのものだった」。アルメニアの国章にアララト山が刻まれています。近くに見える小アララト山3896mはイラン領。強国が弱小国領土を簒奪。

アルメニアは19世紀末から20世紀初にオスマントルコによる大迫害（トルコは、公式には認めていないそうです）に襲われ、生き残った多くのアルメニア人たちが移住したアメリカ（とくにカリフォルニア州）などでの活動には無視できない場合があります。2020年、隣国のアゼルバイジャン間で起きたナゴルノ・カラバフ紛争（アルメニア敗北）では、漁夫の利を得たロシアがアゼルバイジャンの肩をもちました。苦難の中でもアララトとエチミアジンはいまも、世界中に散らばったアルメニア人の心の拠りどころとなっているのです。

（山内）

写真2　写真では分かりにくいが峠のはるか向う側に大アララト山（右）と小アララト山（左）

【入会説明会】

月日	時間	場所
2月10日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階シルバー会議室
3月10日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階シルバー会議室
4月14日(木)	13時30分～	大穂庁舎3階シルバー会議室

【お知らせ】

センター紹介動画が完成

会員の活動を中心とした、つくば市シルバー人材センターの紹介動画が完成いたしました。左記QRコードの読み取りかhttps://youtu.be/QYV83ftGI20のアドレスから、どなたでもご覧になれます。ご入会をお考えの方は是非ともご覧ください。

表紙の説明

2019年1月に撮ったシーンだが、コハクチョウやオオバンたちは人間の子どもたちには安心しているようだ。ニコンP310　オート。

発行元　総務部広報委員会　〒300-3257 つくば市筑穂 1-10-4（大穂庁舎内）
TEL 029-879-5199　FAX 029-879-5198　http://www.tsukuba-sc.com　https://youtu.be/QYV83ftGI20